振動試験における多ch同時計測

振動試験中の各種データを高速サンプリングで同期計測します

多ch同時計測の特徴

供試品に振動を与え各部に取り付けた様々なセンサからデータを取得し、同時に32ch以上のデータを、高速に、同期して記録します。恒温恒湿槽内で試験することにより、振動特性に加え温度特性も評価することができます。

大型恒温恒湿槽（1㎥級）

● 試験環境

大型（W1.2×D1.2xH1.0m）の大型槽内で試験できます。温度範囲は-40℃～180℃とワイドレンジで、湿度コントロールも併用可能です。

過酷な温度環境にさらされる車内外取付部品などの試験にもご利用いただけます。

恒温恒湿槽

標準的な計測対象

● 高速サンプリング

最大200kHzの高速サンプリング周波数（32ch）。　高周波領域の振動現象も把握できます。

● 加速度

ひずみ式、圧電式など電圧出力型の加速度センサを接続し、供試品各部の加速度を計測します。3軸センサを用いると、各軸方向の応答を同期して取得できます。

計測データの周波数解析により、計測箇所それぞれの周波数特性を調べることもできます。

● ひずみ

ひずみゲージを接続して、各部の動ひずみを取得します。3軸ゲージを用いて主ひずみや方向をリアルタイムで演算・表示できます。

● 温度

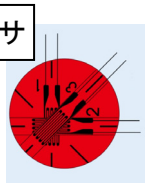
熱電対（K又はT）を接続し、各部の温度を計測します。

● その他

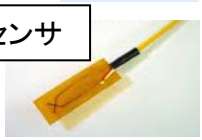
様々なアナログ出力を記録できます。ご相談ください。

加速度センサ

ひずみセンサ

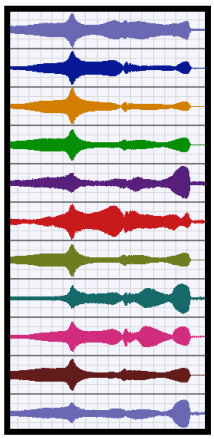


温度センサ

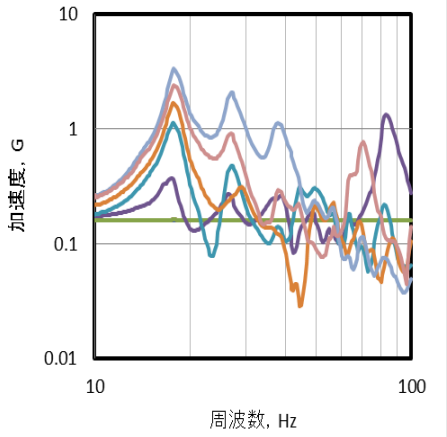


活用例：　同期した多ch計測データ（時間波形）を周波数解析し評価に活用できます。

計測器



時間波形



周波数解析

JFE テクノリサーチ 株式会社
https://www.jfe-tec.co.jp
0120-643-777

Copyright ©2020 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。

Cat.No 3E6J-035-00-200330